

子どもの読書活動の意義

子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの

現状と課題

全く本を読まない子どもの割合が全国と比較して高い

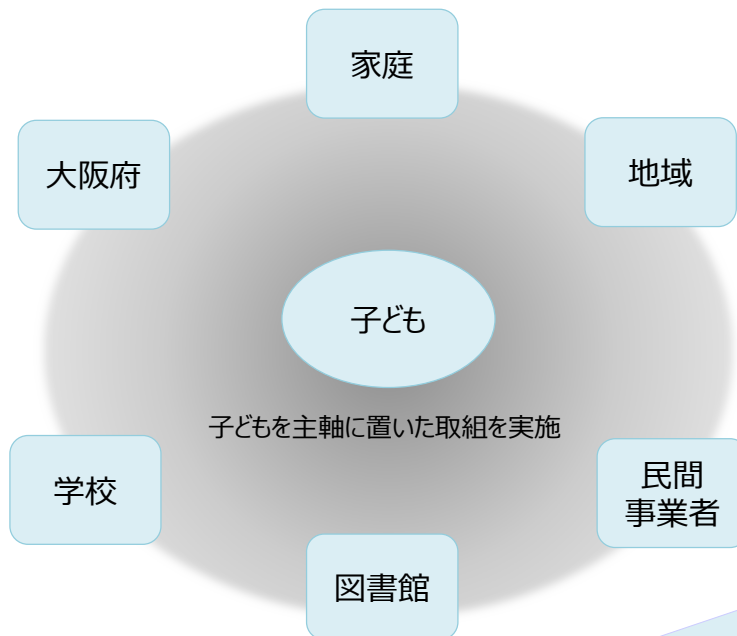
【理由】

- ・時間を割かない
- ・興味を持てるような本がない
- ・本を読むことが面倒

【不読率】

R1	小6	中3
全国	18.7%	34.8%
大阪	24.4%	44.8%

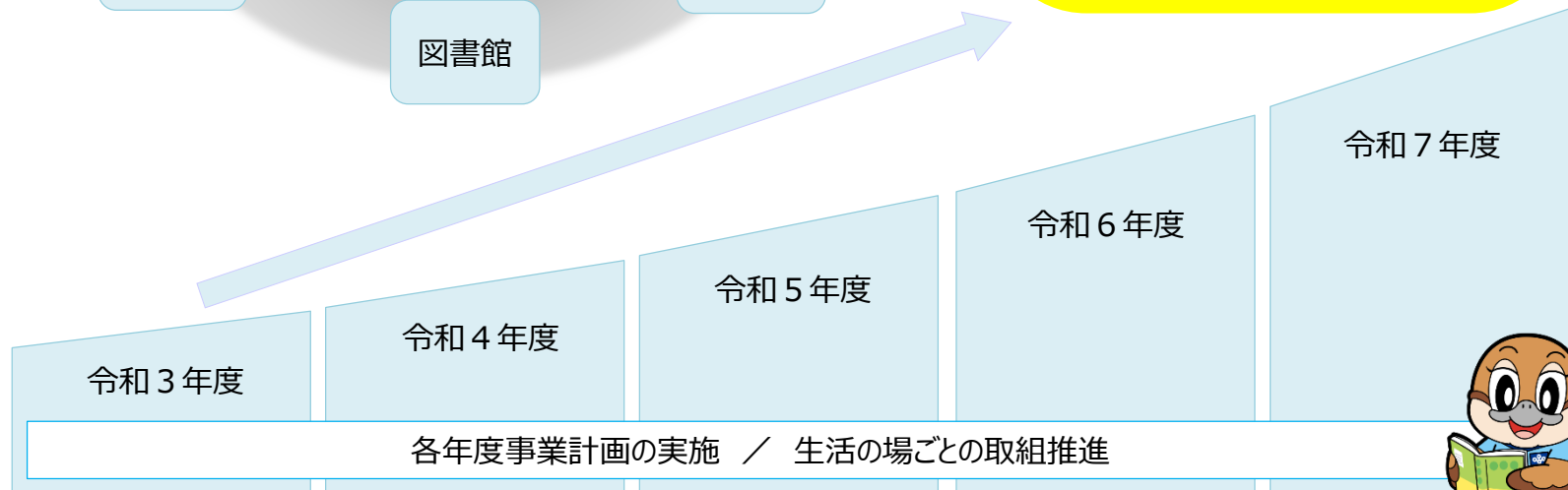
府・子どもの生活の場ごとの読書環境の整備



5年後の子どもの vision

発達段階や生活の場に応じて、全ての子どもが読書への興味・関心を高め、必要な知識を得るとともに、自ら楽しみながら読書活動を行う

「豊かな心」や創造力や表現力等様々な力を育み、社会に出るための基盤を形成するとともに、人生をより深く生きる力を身に付ける



【成果指標】計画最終年度までに、「本を全く読まない子ども」の割合（不読率）を全国平均以下とする。
（全国学力・学習状況調査結果数値）